

大切にしたい「中学生らしさとその感覚」

校長 片山 亮一

校庭の木々が赤や黄色に染まり、秋の深まりを感じさせる頃となりました。地域並びに保護者の皆様には、日頃から本校生徒の健全育成にお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

また、先日の「学習発表会・合唱コンクール」には多くの皆様にご足をお運びいただき、本当にありがとうございました。工夫を凝らしながら練習を重ねたクラス合唱を体育館いっぱいに響かせた生徒たちは、仲間とともにやり切った満足感と「大きな自信」を手にし、「実りの秋」にふさわしい一日を創出してくれました。

何よりもうれしく感じられたのは、生徒たちの「中学生らしさとその感覚」です。

午後の発表では、8月に開催された『立山町子ども議会』を1年生の有志がステージ上で再現し、「私のアイデア」として新たな提案をいくつも盛り込みながら、「立山町の未来」について全校で考える機会を与えてくれました。

3年生の「総合的な学習の時間」の発表、保健体育科のダンスパフォーマンス、それぞれの展示発表などにも、中学生らしい「十人十色の表現」が随所に輝きを放っていました。

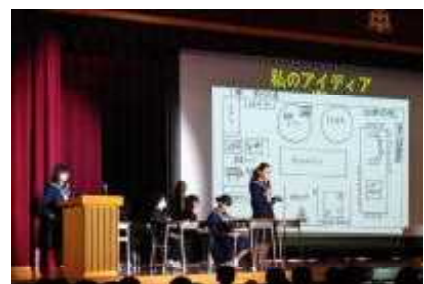
さて、話は変わりますが、2年ほど前に『超小型衛星がひらく未来予想図』と題したサイエンス番組で、重さが100kgに満たない人工衛星の静止画像が世界の石油ビジネスや海運産業に革命を起こしていることが紹介されていました。中でも驚いたのが「全米で展開するホームセンター駐車場を毎日撮影する静止画像をもとに来店する自動車の数をデータ化し、その変化から売り上げを予想して大きな利益を生み出す」という取り組みです。もはや画像がやりとりされる時代ではなく、その画像から抽出・解析されたデータが「顧客のほしい情報」として様々な活用されるなど、今や「ビッグデータ」の時代なのです。

消費税10パーセントが導入されるなかで、ひとときわたらの生活に入り込むようになったキャッシュレス決済をみても、これは紛れもない事実です。

店員がかかわることのない「セルフレジ」、現金のやり取りが生まれにくいカード決済などによって、昭和や平成の時代にあった何気ないコミュニケーションの心地よさが私たちの生活から徐々に失われていくような気がしてなりません。

きっと、そのような時代だからこそ、「人間性（その人らしさ）」を互いに認め合い、そのよさが大切にされなければならないのだと思います。

他とのコミュニケーションを大切に、郷土や自校を愛する生徒が育つ雄山中学校でありたいと思います。



1年生ステージ発表『輝く立山町で』



11月の主な予定



10月29日(火) 教育相談(～11月8日)	11月13日(水) 明るいあいさつ in 出身小学校
11月 1日(金) 冬校時スタート(下校完了 17:30)	11月15日(金) 学校集金口座振替日
11月 2日(土) 県ジュニア陸上競技大会	11月16日(土) 学習参観日(午後)
11月 3日(日) 文化の日	1、2年:学年総会、3年:学年総会
11月 4日(月) 振替休日	11月18日(月) 16日の振替休業日
11月 5日(火) 中教研学力調査(～6日)	11月23日(土) 北信越中学校駅伝大会(松本市)
11月 7日(木) 3年高校説明会	11月27日(水) 期末考査(～29日)
11月 9日(土) 県選抜大会(屋内:～10日) 地域ぐるみ教育研修会(中・小・教)	3年進路懇談会(～28日)

郷土の魅力に心ひかれた 立山校外学習

10月1日(火)に、1年生234名が立山校外学習を行いました。「立山りんどう会」のガイドさんたちが班ごとに付いてくださり、立山の高山植物や動物についての解説を聞きながら散策しました。生徒たちは、室堂平や弥陀ヶ原の大自然に圧倒されながら郷土の魅力に見入っていました。

【生徒の感想より】

- ・ いつも見ることができない高山植物やオコジョ、ホシガラスに会うことができました。この素晴らしい大自然を、私たちが守っていかなければいけないと思いました。自分たちにできることは、まずはゴミのポイ捨てをしないことだと改めて思いました。
- ・ 弥陀ヶ原では、草や木が赤やオレンジ、黄色などに染まって今までに見たことがない紅葉でとてもきれいでした。また、高山植物についてもたくさんを知ることができました。高山植物を踏んでしまうと10年は元に戻らないことを聞き、もっと高山植物を残せるよう大切にしていきたいと思いました。
- ・ 立山には、たくさんの素晴らしい『日本一』があり、自慢のふるさとだなと思いました。これからも、緑豊かな立山の環境を大切にしていきたいです。



一回り成長した「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」

9月30日(月)～10月4日(金)の5日間、2年生216名が73の活動場所に分かれて職業等の体験を重ねました。5日間という短い間でしたが、それぞれの仕事に誇りをもちながら真剣に仕事と向き合う「地域の大人」の姿勢から多くのことを学ぶことができました。

【生徒の感想より】

- ・ 接客の基本は、お客様に対する『心』だと知りました。部屋の布団のたたみ方や掃除の仕方など、お客さんが気持ちよく過ごせるようにという気持ちが伝わってきました。私はこの『誰かを大事に思う心』は社会に出ても、人としても大事なことだと強く感じました。
- ・ 私は5日間の活動で、コミュニケーションをとることの大切さを学びました。病院で働く方々は一つの『チーム』となって仕事しておられました。投薬やリハビリなどの治療だけでなく、コミュニケーションをとって患者さんの心の負担を少しでも和らげようとしている姿が印象的でした。この体験を今後の生活に生かしていきたいです。



夢をつないだ 富山県中学校駅伝競走大会

10月5日(土)、「駆ける大地を! つなげ友情のタスキ」をスローガンに富山県総合運動公園陸上競技場クロスランナーコースで、富山県中学校駅伝競走大会が行われました。この日のために、夏休み前から一生懸命に努力を重ねてきた選手たちは、それぞれの持ち味を遺憾なく発揮し、コースを全力で駆け抜けました。

結果は男子が昨年の雪辱を果たして優勝し、女子は8位入賞となりました。11月23日(土)に長野県松本市で行われる北信越大会に男女ともに出場します。男子は12月15日に滋賀県で行われる全国大会にも出場します。

